

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



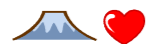
校長通信
大潟村立大潟中学校
令和5年5月22日(月)発行
NO.2 文責:小玉 克男



■ 体育祭、大成功！！

5月16日(火)、晴天に恵まれ、「火花～舞い 戦い 広がれ～」のテーマのもと、令和5年度体育祭が行われました。本校は各学年1学級のため、各学年とも赤、青、黄の3色に分かれての縦割りのチームによる対抗戦です。この日まで、各チームとも3年生がリードして練習を重ねてきました。当日はその成果を遺憾なく発揮し、まさに火花を散らしながらの全力プレーを見せてくれました。応援に駆けつけていただきました保護者の方々、ありがとうございました。

□青組優勝！！



競技種目は、徒競走、色別対抗全員リレー、綱引き、「よっちょれ」の演舞、色別対抗選手リレーで、それぞれの入賞に得点が入ります。さらに行進賞も加算され、最終的に、総合優勝は青組となりました。順位はつきましたが、全校生徒が全力を出して取り組む姿、ふだんはおとなしい生徒が大きな声を出して盛り上げる姿、色の区別なく声を掛け合う姿に感動しました。一生懸命取り組み、充実感を味わった経験は、これからの学校生活にきっと生きていくことでしょう。

また、生徒会遊競技として、学年対抗大縄跳びが行われました。これは3年生が優勝し、下級生に貫禄を示しました。各学年の仲間で息を合わせて取り組んだ経験は、学級の団結を強くし、絆を一層深めることができたことと思います。

3年生は、これまでの大潟中学校体育祭の伝統を立派に引き継いでくれました。

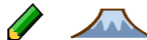
1、2年生はそんな先輩の姿に学び、来年の体育祭に生かしていくことを期待しています。



■ 生徒総会が行われました！

4月25日(火)、本校ホールにて前期生徒総会が行われました。議案書をタブレットで確認している姿を見て、ICTが進んでいる大潟中らしいな、と感じました。執行部や各委員会で立案した前期の活動方針や活動計画について説明した後、質疑応答となり、たくさんの質問や意見が出されました。事前に各学級において議案書の読み合わせをしていることもあり、多くの生徒が「自分事」として生徒総会に臨んでいるように思いました。

□生徒会執行部活動テーマ 百花繚乱 ～一花咲かせる時が来た～



設定理由は「今まで秘めていた一人一人の力を発揮し、学校をみんなの『楽校』にしてほしいから」とのことです。これを受け、前期活動目標は「みんなが活躍できる場をつくり、学校を『楽校』に」としています。

「百花繚乱」は、広辞苑では「種々の花が咲きみだれること。転じて、すぐれた人・業績などが一時にたくさん現れることをいう。」とあります。体育祭や学校祭などの行事はもちろんですが、日



■ 第1回PTA役員会、部活動後援会役員・理事合同会議

5月11日(木) 18:00、18:30から上記の二つの会議がありました。お忙しい中ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。なお、今年度、大潟中PTAが大潟南秋地区PTA連合会の当番校となりました。ご協力をよろしくお願いいたします。

□PTA役員会での話合いから

各専門部毎に部長・副部長を選出し、今年度の事業計画案を作成しました。

- 総務部：給食試食会(7月)への参加、大中祭への協力、研修会の開催(11月)
- 文化部：年2回の会報の発行及び作成のための部会
- 体育部：体育祭、大中祭への協力、学校保健委員会
- 校外指導部：街頭指導(秋の交通安全週間の朝)、青パトでの見回り

□部活動後援会役員・理事合同会議での話合いから

賛助会費募集の集金事務について確認しました。

常生活や委員会活動においても、活躍できる場はたくさんあります。何事にも「自分が主役」だと思って一生懸命取り組み、活躍していきましょう。その活躍の積み重ねが「楽校」、そして笑顔と感動のあふれる大潟中になっていくことと思います。先生方はもちろんいい学校となるように日々頑張っていますが、生徒の皆さんが、自分たちの学校を自分たちの力でよくしていくということも大切なことです。保護者の皆さん、地域の皆さんのお力もお借りしながら、「チーム大潟中」として、みんなでいい学校づくりをしていきましょう。

□されてうれしい挨拶(あいさつ)、気持ちのいい挨拶とは？



生活委員会の前期活動目標は「活力あふれる挨拶と学習に対する意欲の向上を推進します」です。「活力あふれる挨拶」といっても、一人一人捉え方が異なるのではないかと感じましたので、最後の「校長先生のお話」の中で、全校生徒の皆さんに「人からされてうれしい挨拶、気持ちのいい挨拶とはどのような挨拶ですか。具体的に、できるだけたくさん挙げてください。」と問いかけてみました。自分で考え、近くの人と共有した後、発表してもらったところ、「大きな声で」「笑顔で」「相手の目を見て」「礼をして」「自分から」などの意見が出ました。それぞれの発表に、全員が賛同の拍手をしていました。校訓の二つ目にも「充実の意気を明るく挨拶で」とあります。挨拶は大潟中の校訓にもある、みんなで目指すことの一つでもあります。みんなで頑張っていきましょう。

では、なぜ挨拶は大切なのでしょう。挨拶の意義を、例として三つほど挙げておきます。他にもいろいろな意義や効果があると思いますので、考えてみてください。

① コミュニケーションの第一歩

挨拶は仲良くなるための第一歩です。挨拶をすることは自分の心を開くことであり、相手から「話しかけやすい人だな」と感じてもらえます。だからこそ、苦手な人にも積極的に挨拶することが大切です。

② 印象のよさを与えられる

挨拶は出会ってすぐにするものなので、第一印象を左右します。大人になって仕事をするようになると、「あの人は挨拶してくれるから、仕事の上でも相手を大切に丁寧で頑張るんだろうな」とか、「あの人は挨拶を全然してくれないから、きっと仕事も適当なんだろうな」と思われてしまうことがあるかもしれません。

③ 存在を認めているということを伝える

「他の人には挨拶しているのに、自分は挨拶されない。無視されているのかな。」と思ったことはありませんか。挨拶しないということは、「存在していないかのように扱っている」と示すことになるのではないのでしょうか。実は、この「承認欲求を満たす」ということが一番大きな理由になるのかもしれない。



体育祭前の5/14(日)、PTAの方々グラウンド土手の草刈りをしてくださいました。ありがとうございました。